

「守口市の『幼児教育・保育の無償化』政策に関するアンケート調査」 による検証事項

政策によって目指すところ

- 経済負担の緩和で、安心の子育て・子育てを
- 子育て世代の定住で、活力と成長の「もりぐち」を

～基本的な考え方

1 未来への投資

子どもへの投資は、将来の守口市そして日本を支える未来への投資。「もりぐち」は子育て・子育て支援を社会全体、全ての市民で支え合います。

【アンケート項目】

問4 : 政策そのものへの賛否、無償化より優先すべき政策があるとしたらそれは何か？

2 女性の活躍支援

安心して子どもを育て、また預け働ける条件を整えることで、男女が共に、その力を精一杯発揮できる社会を目指します。

※アンケートに回答する「保護者」に質問：

前回のニーズ調査では（母親：94.6%、父親：4.7%、その他・無回答：0.7%）

⇒母親に対する質問として限定しなくても回答者が母親である可能性が圧倒的に高い。また、男女平等や家庭の多様化の観点からも、性別を限定しない方が望ましい。

【アンケート項目】

問1 : 現在の就業状況（フルタイム、パートタイム、休業、無職の割合）、年収

問7① : 既に働いている人：いつからか（今の仕事での年数）、何をきっかけに（無償化をきっかけに働き方が変わったかどうか）、いつまで働き続ける予定か

問7② : これから働こうと思っている人：いつからか、何をきっかけに（無償化をきっかけに働き方が変わるかどうか）、いつまで働き続ける予定か

3 定住のまち守口を実現

全国トップレベルの子育て世帯にやさしい政策を実現し、市民の定住を促進することで、活力と希望のまちづくりにつなげます。

【アンケート項目】

問3-1 : 人口流入：いつ、何をきっかけに、世帯レベル（どの所得層か）、子育て世代の中のどの世代か

※国の無償化政策と絡めて

問3-2 : 人口流出：いつ、何をきっかけに、世帯レベル（どの所得層か）、子育て世代の中のどの世代か

問3-3 : 定着（流出しない）度：条件・理由（守口市の何を気に入っているのか）、世帯レベル（どの

問3-4 : 所得層か）、子育て世代の中のどの世代か

その他

【アンケート項目】

問6 : 無償化の恩恵を受けている人：就学前の教育・保育施設の利用状況で確認

※認可外保育施設に通っている子どもは現在無償化の対象外。

※補助方法は異なるがどちらも無償化の対象であるため、「新制度に移行した園」と「私学助成の幼稚園」を選択肢として分けない。（自分の子どもが幼稚園に通っている場合、どちらの幼稚園に該当するのか知らない保護者もいる。）

問9 : 恩恵の具体的な使い方

問8 : 子どもをさらに持ちたいか